



あしたの分も買うちょくきね。

～飲食券先買い応援プロジェクト～

高知新聞社は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で売上が落ち込む高知県内の飲食店を応援する「あしたの分も買うちょくきね。～飲食券先買い応援プロジェクト～」(略称:「あすかう」プロジェクト)を立ち上げます。

新型コロナウイルスの影響で、県内の飲食店は大きな打撃を被っています。県による休業、時短要請は解除されたものの、社会全体の「自粛」の雰囲気は依然として続いています。こうした状況では「客足は戻らない」と休業を延長する店舗も多く見られます。

「おきゃく」は高知の文化です。その文化を守るために、いま私たちにできることは、苦境に立たされている地域の飲食店の飲食券を先買いして応援することです。

本プロジェクトは、高知新聞社が運営主体となり、四国銀行の協力を得て、クラウドファンディングを実施するものです。応援者はインターネットのサイトを通じて、応援したい飲食店の飲食券を先買いできます。例えば、5千円分の飲食券を購入すると、1割増し(5500円分)の飲食券が届き、応援先の店舗で使えます。店舗側は、実際の来店より事前に飲食券の代金を受け取ることができ、それを運転資金に充てられます。

本日から、参加飲食店の第1次募集を開始します(5月15日13時まで)。

〈プロジェクト概要〉



飲食店の皆さまへ

参加飲食店募集

営業自粛や客足が戻るまでの期間をつなぐための資金を、本プロジェクトに参加して獲得してください。参加費は無料ですが、応援者へのプレミアムとなる10%分は店舗側でご負担ください。

■参加資格は次の通りです。

- ①高知県内に事業所がある飲食店(カフェやバー、スナックなども含む)
- ②今後も、継続して飲食店を営業する意思があること
- ③応募要項、特に「免責事項などの重要事項」に同意すること
- ④反社会的勢力に該当しないこと

■参加のメリット

- ①インターネットで飲食券を事前に販売することで、未来の収益を先に確保できます
- ②直接、会うことが難しいお客さまから応援いただける可能性があります
- ③後日、飲食券を購入されたお客さまが来店されることで、つながりが深まります

■参加を希望される店舗は、次の方法で申し込んでください。

- ①専用フォームへの登録 [こちらからも申し込みます](#) →
- ②参加申込書をFAXで送信 ※高知新聞ウェブサイトに詳細を掲載



一般の皆さまへ

5月19日から飲食券発売開始

新型コロナウイルスの感染拡大が終息した後、みんなで楽しく「おきゃく」をするために、本プロジェクトを通じて地元の飲食店を応援してください。サイトでの飲食券販売は5月19日から開始の予定です。改めて高知新聞の紙面などを通じてお知らせいたしますので、しばらくお待ちください。

応援の輪を広げるために、お取引先やごひいきの飲食店などに、本プロジェクトへの参加を呼び掛けていただけますと幸いです。